

加須市所蔵大鹿一郎氏寄贈の（仮称）「詳細浅間川及び周辺河川図」
について（第1報）

葛西用水路土地改良区琵琶溜井記念館ボランティア 黒川雅彦

加須市所蔵大鹿一郎氏寄贈の仮称「詳細浅間川及び周辺河川図」（以下「詳細浅間川及び周辺河川図」という）は、旧大利根町で編纂された「大利根町史資料編（下巻）」の口絵および「図録 大利根町のあゆみ」のP36にて紹介された絵図（以下「町史絵図」という）で、町史編纂時は大鹿一郎氏所蔵だったが現在は大利根町に寄贈され、合併後の加須市が所蔵している。

今回、市生涯学習課の好意により、現物を調査する機会に恵まれたので、調査結果について報告したい。

1 外観

巻物として装丁。（町史等掲載後、町への寄贈以前に装丁されたもよう。）

絵図の大きさは、約5m×約2m。ただし、北西と南西の一部が欠如。

絵図名称等は見当たらない。

「町史絵図」と比較すると以下の違いが見られる。

外周部の一部が目視出来なくなっている

北西と南西部の「あて張り」により一部が目視出来なくなっている

折り込みにより一部が目視出来なくなっている

折り込みにより一部の違いがあるもよう



2 主な記載内容

- (1) 「東」、「西」、「南」、「北」が記載
- (2) ほぼ中央にいわゆる浅間川（河川名なし）堤内を畠、河原等の土地利用が色別に描かれ、堤の長さや堤間の土地利用別長さが記入されている。
- (3) 記載範囲は、北側は「いわゆる新川通（佐野川合流もみられる）」、東側は「利根川（権現堂川）[あか堀分派もみられる]」、南側は「いわゆる島川」、「幸手用水（葛西用水）」、「あいの川」、西側は「いわゆる浅間川呑口」までの区域となっている。
- (4) 楕円形で村名が記載されている。
- (5) 主要な水路が描かれ、名称も記載されており、樋の記号も記載されている。
- (6) 道路は赤線で描かれている。
- (7) 葛西用水は「幸手用水」として記載。
 （「町史絵図」で見られる午年堀の埋込は装丁により目視できず）
- (8) 「向川邊領」ではなく「川邊領」として、「嶋中領」は「嶋中方」と記載。

3 主な注目点

- (1) いわゆる「新川通」の形状等
- (2) 村名
- (3) 村名の着色
- (4) いわゆる「浅間川」にかかる記載
- (5) 「太ろう四郎堀」の流路等

今後、順次、絵図の内容を報告していきたい。